



# ふしこ



ホームページアドレス <http://www.fushiko-e.sapporo-c.ed.jp/>

札幌市立伏古小学校  
学校だより  
特別号  
令和7年(2025年)  
3月25日

## 令和6年度 教育活動と令和7年度に向けて

教務主任 西澤 信子

本日令和6年度が修了しました。今年度は「本質を見極め、本質に立ち返る」を重点に伏古小学校学校教育目標「未来を創造する人間性豊かな子どもの育成」に向けて取り組んできました。それについて、保護者アンケートや各種調査を踏まえ、全職員で今年度の教育活動の成果と課題を明らかにし、来年度の教育活動等を検討してきました。今年度の教育と次年度の方向性については、先日の学校教育報告会で説明させていただきました。

### \*各種アンケートより

#### 保護者アンケート

	質問項目	肯定的意見	否定的意見
1	学校は、様々な場を通じて教育活動のねらいや内容、子どもの育ちについて保護者や地域に伝えていると思いますか。学校教育説明会、学習参観懇談会、個人懇談、学校だより、通知表、すぐーる)	97.4%	2.6%
2	学校は、様々な学校行事や学習活動を通して、子どもが目標をもち自己実現を図ることができるような教育活動を行っていると思いますか。(運動会や学習発表会等の行事、校外学習、ゲストティーチャー、学習活動全般)	90.5%	9.0%
3	学校では、子どもたちが自分なりの考えをもって意欲的に取り組むことができ、分かりやすい授業の工夫がなされていると思いますか。	95.8%	3.7%
4	学校は、子どものことについての相談に応じていると思いますか。(スクールカウンセラーの配置、学びの支援委員会の開催、特別支援級との連携、シャボテンログ等)	92.1%	6.9%
5	学校では、子どもたちの豊かな心を育てる取組が適切に行われていると思いますか。(朝読書、読書のしおり、道徳授業、学級活動、情報モラル教育、異学年交流)	91.5%	6.9%
6	学校では、子どもたちの健康に関する教育がなされていると思いますか。(食指導、性指導、命の授業、歯磨き指導、薬物指導など健康増進についての教育)	92.1%	6.3%
7	学校では、子どもたちの体力向上に関する取り組みが適切に行われていると思いますか。(全校で取り組んでいる「なわとびチャレンジ」の実施など)	87.8%	11.1%
8	学校は、子どもたちの安全を守る取組をしていると思いますか。(避難訓練、日常の安全指導、交通安全教室の実施など)	92.1%	7.4%
9	学校は、保護者や地域の方々のが学校教育への参加の場を設けるなど、学校と地域との連携が図られていると思いますか。(校外学習の見守り、スキー学習、家庭科など学習サポーター活動、伏古テースクール)	95.8%	3.7%

# 学習などに関するアンケート

共通指標比較		R6	R5
質 問		全校	全校
1	自分にはよいところがある。	82.2%	73.0%★
2	人のよいところを見付けようとしている。	84.3%	79.7%
3	自分が必要とされていると感じる。	73.4%	64.0%★
4	人の役に立ててうれしと感じることがある。	89.5%	84.9%
5	人の役に立つ人間になりたいと思う。	91.3%	88.7%
6	自分が思っていることや感じていることを人に伝えている。	73.4%	65.0%★
7	自分の意見を進んで発言しようとしている。	68.2%	60.5%★
8	意見の違う人とも、よく話し合おうとしている。	79.0%	74.6%
9	分からないことがあったときに、友達や先生に聞くようにしている。	85.7%	84.6%
10	学習で困っている友達に声をかけたり一緒に考えたりするようにしている。	85.0%	78.5%★
11	新しく学んだことを、他の学習や生活の場面で使おうとしている。	78.7%	70.4%★
12	意見を書くときには、その理由をはっきりさせて書くようにしている。	73.4%	68.2%
13	意見を発言する前に、自分の考えがうまく伝わるように、話の内容や順序を考えている。	67.5%	64.3%
14	人の意見を聞いて、それを参考にして自分の考えを見直すことがある。	83.6%	76.5%★
15	振り返りを通して、自分の伸びや成長を感じることがある。	78.0%	69.8%★
16	振り返ったことを、次に生かそうとしている。	78.0%	71.7%★
17	自分の目標をもって生活している。	81.1%	
18	1日の時間の使い方を自分で考えて生活している。	74.8%	66.9%★
19	自分で計画を立てて勉強している。	69.6%	65.3%

共通指標比較		R6	R5
質 問		全校	全校
20	疑問や課題を解決するために、自分で方法を考えるようにしている。	74.8%	
21	分からないことはそのままにせず、分かるまで努力するようにしている。	76.9%	72.3%
22	自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。	84.3%	80.4%
23	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。	74.8%	73.0%
24	読書は好きである。	75.9%	77.2%
25	先生方は、自分が安心して学習に取り組むことができるよう、支援をしてくれる。	86.7%	86.5%
26	家の人や地域の人に認められたり、支えられたりしていると感じることがある。	81.5%	77.2%
27	自分の学びや成長に学校以外の様々な人（家の人は含みません）が関わっていると感じている。	78.7%	71.4%★
28	先生や家族以外にも、カウンセラーや相談窓口など、必要なときに悩みを相談できる大人がいる。	68.9%	57.9%★
29	自分が学ぶ場所は、ケガをしたり事故が起きたりしないよう、安全が守られている。	86.4%	82.3%
30	健康診断の結果等から、自分の体の成長や健康状態を知っている。	84.3%	78.1%
31	健康のために、自分には何が必要かを考えて生活しようとしている。	75.5%	73.6%
32	「札幌っていいな」と感じることがある。	92.0%	86.2%★
33	文化、スポーツについて、参加できる環境がある。	88.5%	81.7%★
34	（A L Tとの活動など）外国の人と関わることが楽しいと思う	77.3%	74.3%

保護者アンケート全般を通じて、肯定的なご意見をいただきました。また、札幌市共通指標によるアンケートでも、昨年度より肯定的な自己評価が多くなっていました。客観的な数値を成果として捉える一方で、いただいた御意見や子どもの声に耳を傾けていくことを大切にしていきます。

## \*次年度の教育活動について

### 【学ぶ力の育成】

目指す子ども像を「学ぶ楽しさを感じる子ども」とし、「わかる・できる・楽しい」を実感できる授業を目指して今年度行ってきました。授業の最初に子どもたちの興味を引く工夫を施したり、具体物を用意したりすることで、「やってみたい。」という興味をもち学習に前向きに取り組もうとする子どもが増えました。その一方で、「できなさそう。」という不安がよぎると、すぐあきらめてしまう傾向も見られました。次年度は、この不安を解消し安心して学びに向かうことのできる授業づくりを重点として取り組んでいきます。

### 【豊かな心の育成】

肯定的な自己評価は多くなってきていますが、「自分が必要とされていると感じる」という項目に関しては、まだ課題と言えます。これは、札幌市全体の課題でもあります。子どもが、自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重する「相互承認の感度」を高めていく教育を目指します。具体的には、各学年が行う「挨拶運動」や自治的に進める委員会・クラブ活動、一人一人が参加できる授業、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う道徳教育の推進などを現段階で考えていきます。

## 【健やかな体の育成】

体力づくりの一つとして、体育科の授業の準備運動などで縄跳びを取り入れ、1年間取り組むことを継続します。運動機会の充実を図るために「縄跳び週間」「跳び箱運動週間」「マット運動週間」の設定、外部講師による授業の実施なども次年度継続で計画しています。また、子ども自ら健康の保持増進を図るために健康教育（保健教育・安全教育・食に関する指導）を推進していきます。

来年度の体育的行事については、今年度の運動会について保護者の方々からの御意見を踏まえた上で、文部科学省が提示している学習指導要領に立ち返り、どうあるべきかを考え以下のような方針を進めることにしました。

### 【1】体育的行事を行う目的

体育学習や日常で取り組んでいる運動の成果を発揮する場を設けることにより、運動することの楽しさを感じて自ら参加する態度や、集団行動における望ましい態度を養うことが目的です。

### 【2】伏古小で目指す体育的行事

運動会というと、お祭りのような観客も楽しい競技をイメージしていたかもしれませんが、小学校学習指導要領解説特別活動 第4節学校行事 (3) 健康安全・体育的行事②実施上の注意点によると、

「運動会などについては、実施に至るまでの指導の過程を大切にするとともに、体育科の学習内容と関連を図るなど時間の配当にも留意することが大切である。」

「各種の競技会などの実施に当たっては、いたずらに勝負にこだわることなく、また、一部の児童の活動にならないように配慮することが必要である。」※一部抜粋

と書いてあります。

これに準じて本校では全員が主役として成長を感じられる子どもたちの姿を目指します。

そのために、子どもたちがどんな目標をもち、どんな成長をして体育的行事を迎えるのか

という過程に目を向け、価値づけていくことが大切なのではないかと考えています。今年度の種目である全員リレーは、全員で取り組むことができるだけでなく、テイクオーバーゾーンで走る距離を変える、バトンの受け渡しを工夫するなど日々の練習を重ねる中で子どもたち同士が関わりながら成長する姿が見られました。よさこいソーランも同様に上級生が下級生に振り付けを教えたり、他学年の踊りの良さを見比べたりするなど学校全体で一体となって実施することができます。

### 【3】今年度を振り返り

体育が苦手な子ども目標に向かって頑張る姿、記録更新に向けて練習を繰り返したり、お互いを応援したり、出走順の工夫をしたりする姿などが成果として挙げられます。一方で、成長が見えにくい、応援しにくい、運動が得意な子の活躍場面が少ないなどの課題も見えてきました。

### 【4】全員が主役の体育的行事にするために

①名称を伏古スポーツデイに変更します。

②練習過程の発信（全員リレーの記録更新に向けて取り組む姿、よさこいを他学年と教え合う姿など）

このような改善をしながら、伏古小学校の子どもたち自身が成長を感じられる場をつくるために、来年度も今年度と同じ方向性で進めていく予定です。御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

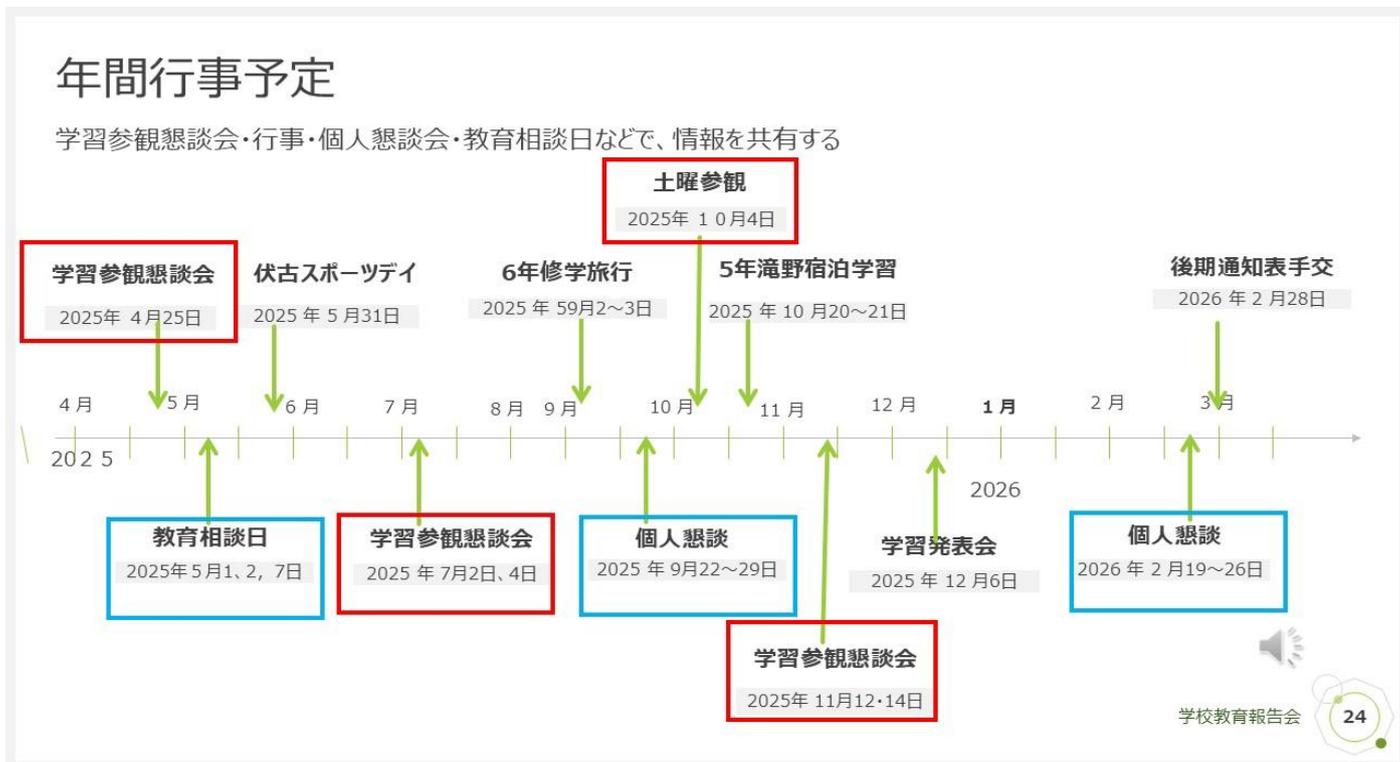
## 【信頼される学校】

保護者アンケートの記述から、我々の意図が伝わらず、事実と違う点があることがわかりました。これまで、電話・お便り・すぐー等連絡を取るなどしてきましたが、次年度は懇談会を増やし情報共有する場を増やすことにしました。懇談会では、子どもたちの様子や近く行われる行事や学習活動などをお伝えしたり、話し合ったりします。お忙しいとは思いますが、ぜひ多くの方にご参加いただきたいと思います。

個人懇談会は、通知表の時期9月と2月末に行います。これまでのお子様の伸びたところやこれからの課題などを通知表や学力テストの結果をもとに、直接お話しします。年度初めの御不安や相談したいことに関しては、新たに希望制の教育相談日を設けます。

### 【その他】

1年間の行事予定については、以下のように計画しております。本日配付しました年間行事予定も御覧ください。今後の変更に関しましては、学校だより・すぐーる・ホームページ等でお知らせします。尚、サマータイムに関しましては、次年度も各教室にクーラーが設置されませんので、その時の状況で実施を検討します。御了承ください。



## 日課表

遅刻が多く、朝の時間及び1時間目が落ち着いた状態で始められないという現状を何とかしたい、教室で子どもたちを出迎え全員と会話する、1時間目のスタートをスムーズにしたいという思いがあり変更しました。このことについては各家庭の生活時間に関わることなので、もっと早くにお知らせし、御理解いただくことができるようにするべきであったと考えます。御迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。今後懇談会等も活用し、できるだけ早くお伝えしていきます。

今年度実施した成果は、まず遅刻者の数が激減したことです。ほとんどいない日も多くなりました。多い日も全校児童の3パーセントほどになっています。そのため、1時間目を早く落ち着いた状態で始めることができます。

また、「札幌市の児童の健康と食生活に関する調査結果」から朝食をとる児童の割合が増えました。昼休憩については、開始当初戸惑う様子の子どももいましたが、順応も早く給食後教室で楽しく談笑したり、読書をしたりしています。5時間目の授業開始もスムーズになりました。

来年度もこの取組を続けていきます。令和8年度に向けて改善を検討しているのは、登校時間の幅を15分間に広げ、8時20分から35分にする事です。今の状態をもう1年継続し変更するかどうか見ていきたいと考えています。

1年生につきましては、学校生活に少しずつ慣れていくことを目指して、入学後9日10時半下校、10日11時半下校、11日12時半下校とします。給食開始後1か月は、4時間授業となり、5月連休明けから5時間授業とします。